

# Claude Code はじめてのセットアップガイド

このガイドに従って順番に進めれば、完全初心者でもClaude Codeをターミナルで動かせるようになります。

## STEP 1 VSCode をインストール

Claudeが作業する"机"となるエディタです。まずここから始めましょう。

ブラウザで「VSCode」と検索し、公式サイト ([code.visualstudio.com](https://code.visualstudio.com)) を開く

自分のOS (Windows / Mac) に合ったインストーラをダウンロード

インストール後、VSCodeを起動する

起動すると青いウィンドウが開きます。これがあなたの作業スペースです。

## STEP 2 Node.js をインストール (超重要)

Node.jsが入っていないとClaude Codeは動きません。必ず入れましょう。

「Node.js」と検索 公式サイト ([nodejs.org](https://nodejs.org)) を開く

「LTS版」を選んでダウンロード・インストール

VSCode上部メニュー 「ターミナル」 「新しいターミナル」を開く

黒い画面 (ターミナル) に以下を入力してEnter:

```
node -v
```

v22.15.0 のようにバージョン番号が表示されれば成功!

何も表示されない場合は、PCを再起動してから再度試してください。

## STEP 3 Claude Code をインストール

VSCodeのターミナルで以下のコマンドを入力してEnterを押します:

```
npm install -g @anthropic-ai/claude-code
```

数分かかります。完了するまでそのまま待ちましょう。

ターミナルに文字がたくさん流れますが正常です。エラーが出なければOK。

## STEP 4 Claude Code を起動

インストール完了後、ターミナルで以下を入力:

```
claude
```

Claudeのエージェント画面(テキストUI)が表示されれば起動成功!

## STEP 5 Anthropic にログイン

初回起動時はログインが必要です。

ターミナルに /login のような表示が出たら、ブラウザが自動で開きます。

AnthropicアカウントでログインするとClaude Codeと連携完了です。

アカウントがない場合は claude.ai から無料登録できます。

## STEP 6 作業フォルダを作る

デスクトップに専用フォルダを作成します(例: claude-work)

このフォルダの中に業務ファイルをまとめて入れていきます:

- ・CSV ・画像 ・Pythonスクリプト ・リサーチデータ ・楽天CSV など

フォルダ名は半角英数字にするとトラブルが少ないです。

## STEP 7 VSCode でフォルダを開く

VSCodeの左上「ファイル」 「フォルダを開く」をクリック

先ほど作った claude-work フォルダを選択

これでClaude Codeがそのフォルダ内のファイルを認識できるようになります。

## STEP 8 最初は小さい仕事を投げる

最初から難しい自動化は不要です。まずは簡単な依頼からスタートしましょう。

例えば:

[このCSVを整理して](#)

[このレビューを分析して](#)

ここで初めて「会話AI」ではなく「実務に触れるAI」として活用できます。

## STEP 9 CLAUDE.md を作る (重要)

フォルダ内に CLAUDE.md というファイルを作成します。

ここにルールを書いておくことでClaude Codeが暴走しにくくなります:

- ・ 禁止事項 (削除してはいけないファイルなど)
- ・ 触っていいファイルの範囲
- ・ ビジネス固有の基準 (中国輸入の仕入れ基準など)
- ・ 各媒体の規約・注意事項

CLAUDE.mdはClaude Codeが最初に読む「取扱説明書」です。必ず作りましょう。

---

セットアップ完了後は、まず小さなタスクから試してみましょ。慣れてきたら自動化や複雑な処理にもチャレンジ  
できます。